

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	救急領域において腹臥位療法患者に発生した褥瘡の形態学的特徴と褥瘡発生リスク因子及び看護ケアの後ろ向き調査
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
新潟大学医歯学総合病院集中治療室（以下 ICU）または救命治療センターにおいて、2020 年 1 月から 2024 年 12 月までに人工呼吸器管理下で腹臥位療法を施行された 6 歳以上の患者さんを対象とします。	
③概要 重症呼吸不全に対する救命及び集中的治療法の選択肢のひとつとして、人工呼吸器管理下での腹臥位（うつぶせ）での治療法があります。しかし、長時間腹臥位でいることで顔や凹凸がある胸部などが圧迫されることによる褥瘡（床ずれ）などの皮膚障害が報告されています。そこで、腹臥位療法を行う患者さんの褥瘡予防を検討するために、ICU と救命センターで腹臥位療法を行った患者さんの褥瘡の発生状況と関係する要因を調査いたします。	
④申請番号	2024-0282
⑤研究の目的・意義	本研究は、腹臥位療法中の患者さんに発生した褥瘡の形態学的特徴と褥瘡発生リスク因子及び看護ケアを調査し、それらの関連を明らかにすることを目的とします。この研究により、腹臥位療法患者さんの褥瘡予防対策の示唆が得られると考えています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	過去に、ICU と救命センターで腹臥位療法を行った 6 歳以上の方の電子カルテを閲覧させていただき、通常の診療の一環で得られた下記⑧の項目についてデータ収集させていただきます。データを収集する際、患者を識別する ID 番号は削除し、個人が識別できない状態で利用させていただきます。研究の成果は学会等で発表を行う予定ですが、顔などはモザイクやぼかしなどで加工するため個人が特定できるような情報が公表されることはありません。また褥瘡部位の写真から褥瘡の形態学的特徴をスケッチしますが、写真そのものを公表することはございません。スケッチ画像を公表する際は、個人が特定されないよう加工して利用します。
⑧利用または提供する情報の項目	患者さんの情報（疾患名、年齢、性別、身長、体重、日常生活自立度、ICU 在室期間と人工呼吸器使用状況、血液データ、体温、脈拍、呼吸状態、酸素飽和度、使用した薬剤、褥瘡部位、褥瘡の写真、使用している体圧分散寝具・用具、保湿剤の使用などの皮膚保護対策、体位変換時間、栄養状態、褥瘡対策危険因子、褥瘡の発生要因）について、個人情報電子カルテシステムから収集します。

<p>㊿利用する者の範囲</p>	<p>新潟大学大学院保健学研究科博士前期課程 森川妙子 新潟大学大学院保健学研究科 横野知江、斎藤あや、小山諭</p>
<p>㊿試料・情報の管理について責任を有する者</p>	<p>新潟大学大学院保健学研究科博士前期課程 新潟大学医歯学総合病院 看護職キャリア開発コアセンター 看護部/副看護師長 森川妙子</p>
<p>㊿お問い合わせ先</p>	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学大学院保健学研究科博士前期課程 新潟大学医歯学総合病院看護部 氏名：森川妙子 Tel：025-223-6161（内線 0499） E-mail：b24n003b@mail.cc.niigata-u.ac.jp</p>